



グローバルCOEプログラム

境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界

2010年度・後期  
道民カレッジ連携講座

# 土曜市民セミナー 共催



北海道大学総合博物館

北海道大学スラブ研究センター

# 濟州島から与那国へ 530年前の漂流と辺境の民の記憶力

講師 | 安溪遊地 (山口県立大学教授) ・ 安溪貴子 (山口大学非常勤講師)



1477年2月、濟州島の船が与那国島に漂着した。3人の漂流者は、島々を護送され1479年5月に対馬経由で帰国。朝鮮王朝実録に残る見聞録は八重山の島々の生活の最古の記録となった。2007年3月、与那国島に漂流民との人間的な交流の豊かな口頭伝承があることがわかった。2009年2月、島々の平和的交流の再開をめざす濟州島から与那国島への感謝と慰霊の旅も紹介する。

## 10月16日(土)

### 13:30 ~ 15:00

北海道大学総合博物館1階

「知の交流」コーナー

**入場無料 | 申込不要 | 定員60名**

\*定員を超えますと立ち見となる場合がございます。

### 本セミナーに関するお問い合わせ先

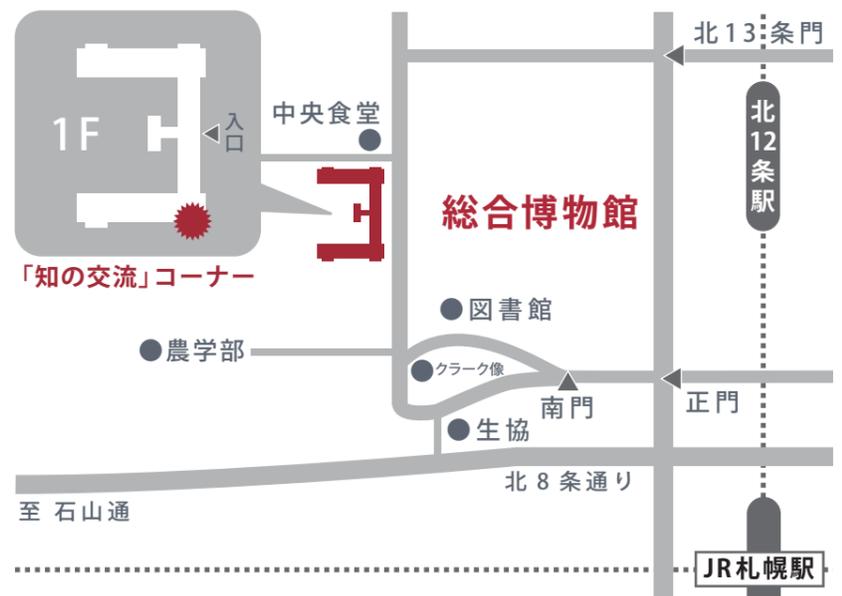


北海道大学スラブ研究センター「境界研究の拠点形成」事務局  
TEL: 011-706-2380/4809 E-mail: gcoe-jimu@slav.hokudai.ac.jp  
http://borderstudies.jp

### 北海道大学総合博物館



〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
TEL: 011-706-2658 http://www.museum.hokudai.ac.jp/



お知らせ

「海疆ユーラシア—南西日本の境界」展、開催中!

総合博物館2階 GCOE 展示ブースにて「海疆ユーラシア—南西日本の境界」展を開催しております。9月17日からは、このセミナーに登場する伝承資料や記録資料、感謝と慰霊の旅の映像をご覧になれます。どうぞお立ち寄りください(11月14日まで展示)。